

週間漁海況情報 2025年第26号

令和7年7月1日発行

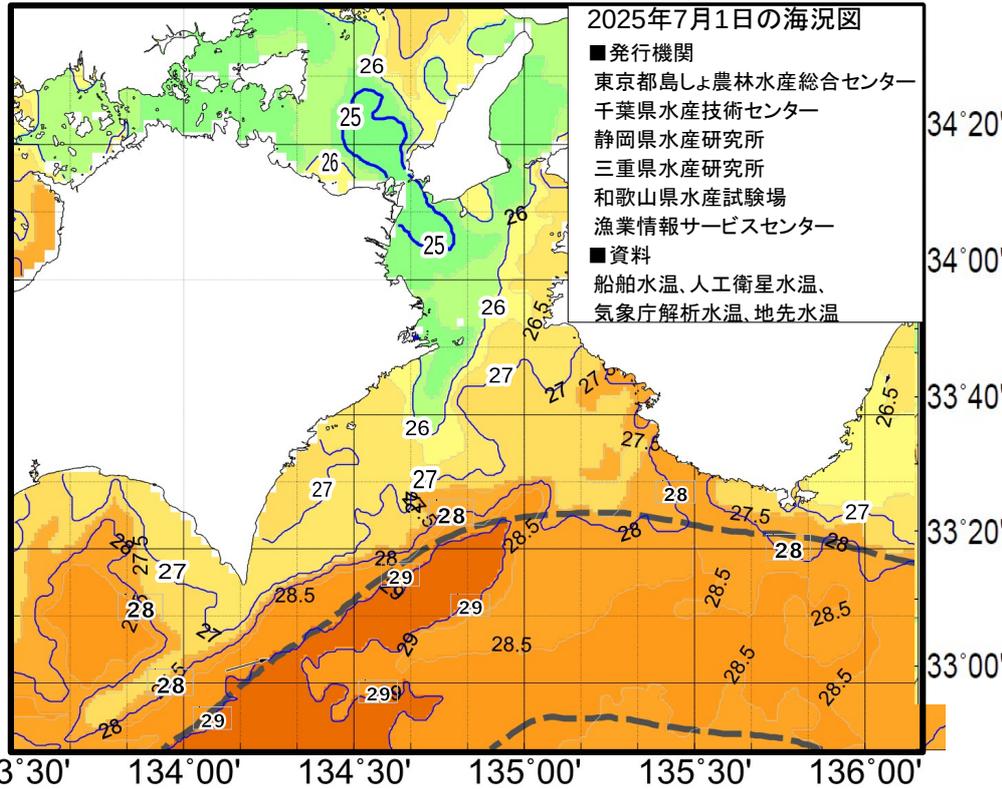
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は26～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で24～26、紀伊水道で24～26、海部沿岸で25～27℃台となっている。



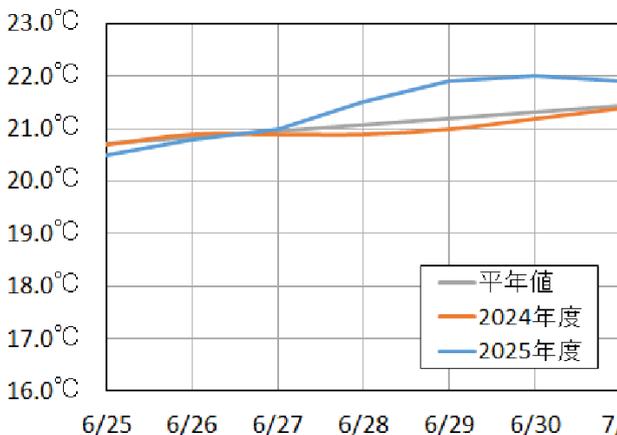
※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

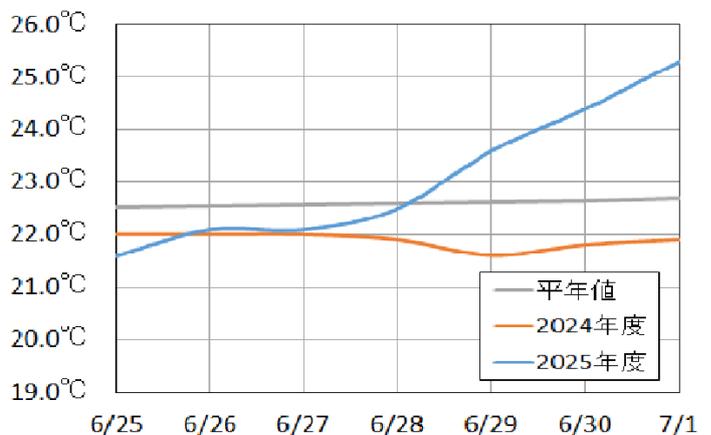
2. 地先水温(6月25日~7月1日)

鳴門地区の水温は、20.5～22.0℃で「平年並み」から「やや高め」、浅川地区は、21.6～25.3℃で「やや低め」から「かなり高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、1.0～3.4℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(7月2日~7月8日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」、浅川地区で「高め」で推移する見込み。

漁況 (6月23日～6月29日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが増えて17.6ト水揚げされた。
 釣りでは、イサキが減って大主体に0.6ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが増えて中主体に9.2ト、あまだい類が0.6ト水揚げされた。
 底びき網では、ハモが中主体に3.5ト、えそ類が0.8ト、マダイが0.4ト、
 いとより類が大きく減って0.3ト、カワハギが増えて大主体に0.2ト水揚げされた。
 小型定置網では、イサキが増えて1ト、マアジが減って0.5ト、マダイが0.4ト、
 ふえだい類が大きく減って0.4ト、カワハギが大主体に0.3ト、
 ブリが減ってめじろ級主体に0.3ト、ころだい類が大主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、イサキが大きく減って0.2ト水揚げされた。
 大型定置網では、ウルメイワシが大きく増えて大主体に11.5ト、
 マアジが減って小あじ主体に2ト、マルソウダが大きく減って0.6ト、
 ゴマサバが大きく増えて0.5ト、イサキが大きく減って0.5ト、とびうお類が減って0.3ト、
 メジナが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	17,550	176		↗
	釣り	15	イサキ	626	42	大主体	↘
	延縄	99	ハモ	9,249	93	中主体	↗
			あまだい類	629	10		→
	底びき網	31	ハモ	3,463	112	中主体	→
			えそ類	839	27		→
			マダイ	437	15		→
			いとより類	346	16		↘↘
			カワハギ	236	13	大主体	↗
	小型定置網	16	イサキ	967	60		↗
			マアジ	525	33		↘
			マダイ	446	19		→
			ふえだい類	379	20		↘↘
			カワハギ	350	15	大主体	→
ブリ			310	21	めじろ級主体	↘	
	13	ころだい類	305	23	大主体	→	
海部沿岸	釣り	24	イサキ	226	9		↘↘
	大型定置網	6	ウルメイワシ	11,493	1,916	大主体	↗↗
			マアジ	1,981	330	小あじ主体	↘
			マルソウダ	587	98		↘↘
			ゴマサバ	490	82		↗↗
			イサキ	457	76		↘↘
			とびうお類	307	51		↘
メジナ	204	34		↗↗			

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘